

関数 $f(x)$, $g(x)$ を

$$f(x) = \begin{cases} x^4 - x^2 + 6 & (|x| \leq 1) \\ \frac{12}{|x|+1} & (|x| > 1) \end{cases}$$

$$g(x) = \frac{1}{2} \cos 2\pi x + \frac{7}{2} \quad (|x| \leq 2)$$

で定義する. このとき, 次の問いに答えよ.

- (1) $f(x)$, $g(x)$ の増減を調べ, 2 曲線 $C_1: y = f(x)$, $C_2: y = g(x)$ のグラフの概形を同じ座標平面上にかけ.
- (2) C_1 , C_2 で囲まれた部分の面積を求めよ.

(00 静岡大 理・工・情報 4)

【答】

- (1) 略
- (2) $24 \log \frac{3}{2} - \frac{34}{15}$

【解答】

- (1) $f(x)$ は偶関数であり, $x > 1$ では減少するので, $0 \leq x \leq 1$ での増減を調べる.

$$f'(x) = 4x^3 - 2x$$

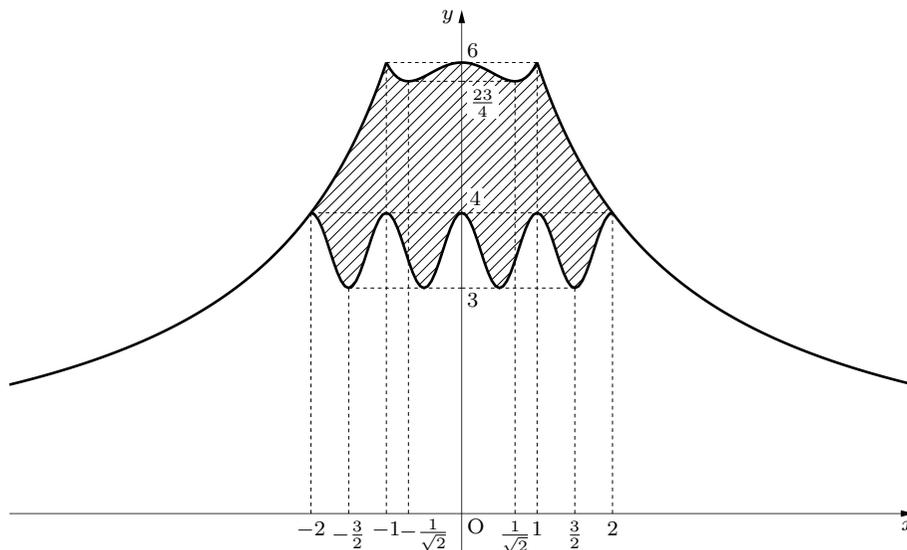
$$= 2x(x^2 - 2)$$

$0 \leq x \leq 1$ での増減は右表となる.

x	0	...	$\frac{1}{\sqrt{2}}$...	1
$f'(x)$		-	0	+	
$f(x)$	6	↘	$\frac{23}{4}$	↗	6

$g(x)$ も偶関数であり, 周期が 1 の関数である.

よって, 2 曲線 $C_1: y = f(x)$, $C_2: y = g(x)$ のグラフの概形を同じ座標平面上にかくと下図となる.



(2) C_1, C_2 で囲まれた部分は (1) の図の斜線部分であり, y 軸に関して対称である. 求める面積を S とおくと

$$\begin{aligned}
 S &= 2 \left\{ \int_0^1 (x^4 - x^2 + 6) dx + \int_1^2 \frac{12}{x+1} dx - \int_0^2 \left(\frac{1}{2} \cos 2\pi x + \frac{7}{2} \right) dx \right\} \\
 &= 2 \left[\frac{x^5}{5} - \frac{x^3}{3} + 6x \right]_0^1 + 2 \left[12 \log |x+1| \right]_1^2 - \left[\frac{\sin 2\pi x}{2\pi} + 7x \right]_0^2 \\
 &= -\frac{4}{15} + 12 + 24(\log 3 - \log 2) - 14 \\
 &= 24 \log \frac{3}{2} - \frac{34}{15} \qquad \dots\dots(\text{答})
 \end{aligned}$$